

令和元年度

# 「八幡地区社会福祉協議会」

## 総会開催

令和元年五月十九日  
 (日) 柏島東穂の家で、  
 令和元年度「八幡地区  
 社会福祉協議会」総会  
 が開催されました。

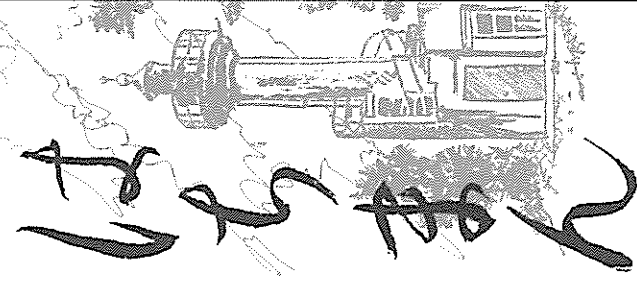
協議会の運営に協力  
 していただいている理  
 事、評議員、顧問の方々  
 が参加され、事務局より  
 提案された、平成三十  
 年の事業報告・決算報  
 告及び令和元年度の事  
 業計画及び予算案につ  
 いて審議されました。

議案は、提案どおり  
 承認され総会は終了い  
 たしました。



### 令和元年度 事業メニュー

事業名	日時	場所
福祉施設との交流会	令和元年8月7日(水)	亀ちゃん家
3世代交流地区運動会	令和元年10月27日(日)	玉島みなと公園
3世代交流もちつき大会	令和元年12月8日(日)	柏島東穂の家
独居高齢者自宅訪問	令和2年2月5日(水)	(準備) 柏島東穂の家
ふるさと歩行ラリー	令和2年3月8日(日)	円通寺



第18号

編集・発行  
 八幡地区社会福祉協議会  
 倉敷市柏島東穂の家  
 倉敷市玉島柏島1532-23  
 ☎5522-1217

# 投稿

## ▽「ネパール旅行」

以前「岡山大学ネパール地学巡検隊」に参加し、今回四十年ぶりに再度訪問した。前回は中西部のポカラ周辺だったが、今回は東部のエベレスト街道トレッキングである。

岡山空港から韓国の仁川空港を経由し、カトマンズに向かった。以前はインドで一泊する必要があったが、今はその日のうちにネパールに行くことができる。便利になったものである。

カトマンズからは小型のプロペラ機でルクラ空港に向かい、そこからは自分の足でのトレッキングである。最終目的地はゴキョピピークで、ルクラから往復十四日間かかった。途中の宿泊は、一部屋に簡素なベッド二つのロッジである。食事もそこで取ることができる。料金も大変安い。

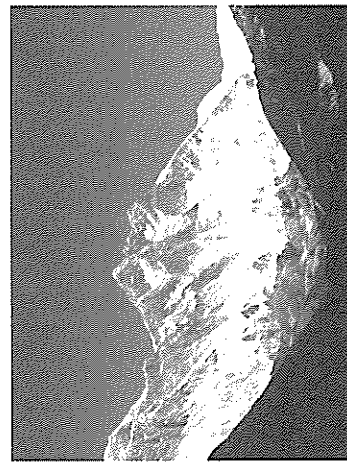
目的地が近づくとつれて寒さが増し、日本の真冬並みである。ゴキョピの朝は白銀の世界であった。これ以上登るのは危険なので標高五千百メートルで引き返した。

トレッキング十一日目で、エベレスト山を見ることができた。世界一をこの目で見ることができ、大感動であった。

日本語が堪能なガイドと、荷物を運んでくれるポーターがついてくれる。道は階段や坂道ばかりで、しんどいトレッキングだったが、自分だけではとても行かれるものではない。

前日もポーターが付いてくれたが、カースト制度の影響で彼らと話すことはタブーであった。今回は話もできるし食事と一緒にできた。四十年の間に随分良くなっている。人権意識が高まっていることを感じ、嬉しく思った。

今回の訪問で、日本を冷静に外から見ることができた。ネパールの子どもはよく手伝いをする。人々は仏様が見ているので悪いことはできないと



堅く信じている。だから治安がとても良い。日本人が忘れつつあるものがここには残っていた。本当に貴重な経験ができた今回のネパール旅行であつた。機会があればもう一度行きたいと思つている。

清川 芳人

## ▽「外へ出れば…」

青色回転灯を光らせての防犯パトロール、手伝い始めて十年目になりました。活動中、犯罪に遭遇したことはまだなく、たいてい近隣の方々と挨拶など交わしつつ周辺の様子を確認し、地域の安全を見届けてはひと安心して巡回終了となるわけですが、時に路上トラブルへの対処や夕暮れ時に子どもらへ帰宅を促すなど声掛けや注意をさせて頂いています。

このような状況の中、去年は大きな社会問題となつた「あおり運転」、誰に限らず他人事ではありません。この「青パト」に仕掛けて来る車もありました。「青パト」は速度控えめで運行しますので、なるべく交通の邪魔にならぬよう、後続車には追いついていただいたり、遠慮もしながら走行していますが、後ろから近付いてくるなりいきなりの「あおり行為」には危険を覚えました。まさに災いに他なりません。報道や社会的な問題視以降減つたようにも感じられますが、この「あおり運転」の他「安易な気持ちで「飲酒運転」、ついやってしまうのか「ながら運転」、うっかりもある「信号・止まれ」の無視、気が回らないのかいまだに「ウインカーを出さない」、助手席でシートベルトもせず子どもを運ばせていたり、「幼児を親や祖父母が膝の上」「ゴミのポイ捨て」など、いまだに多くの「危険」と共に「無責任」、「自分勝手」を見かけます。

自転車加害者になる事故もありますね。去年は、暮れに玉島高校の生徒が昼間飲酒運転の車の被害に遭いましたし、夏には標識が倒れて来た事象も。私の経験では、脇道から全く速度を落とさず飛び出して来た車にぶつけられ、命は助かりましたが車は廃車。相手は「そこで止まったことが無い」という無茶苦茶な人物でした。

また、事故にはなりませんでしたが、国道二号線を快調に走っていた時、前の車が急に停車。側道から本線へ入ろうとした車に道を譲つたのですが、こちらが優先道路。私も更に後ろの車も何とか止まりましたが、玉突きや大事故になっていたかもしれません。「親切心」からの行動でも停車した判断は誤りでしょう。

こういう私も、運転歴三十五年の間、理想の安全運転に徹してきたとは言えません。私の不注意での事故もありました。今でも前や後の車に「不快感を与えたかな」と思うことや、歩行者や自転車にヒヤリとしたりさせてしまう事もあり、反省ももし、周囲に気を配るよう意識しています。これら事故の多くは不注意で起きることが多いですが、ニュースや日常の状況を見ていると、故意に危険な行為に及ぶ悪質な厄介物も少なくないようです。

去年は関係する法律も改正強化されましたが根絶は難しく、不注意や過失を含め、誰もが突然に被害者にもなり得る災難。避けたいものです。「安

全安心のまち」が願っていますが、外へ出ればこの災難と無関係ではられないのが生活の現状。その中で、人様に迷惑を掛けず自分や家族の暮らしを守るために、自転車や歩行者も含め、まずは自分が責任を持つての安全行動。「ハンドルを握ると本性が出る」とも言われますが、しつかり周囲に心を配り、初心忘れず「ゆずり合い」「かも知れない運転」で一緒に事故・事件の防止に努めましょう。そして何かありましたら、躊躇せず速やかに警察へ一報を。また一年、皆さま幸せに過ごせますように。

中藤 賢二

## ▽「水害からの避難について考えよう」

平成三十年七月の西日本豪雨では、倉敷市でも甚大な被害が発生しました。この豪雨で、水害の恐ろしさを実感された方も多と思います。また、地震の際は、津波の襲来も考えられます。

### 水害からの避難について考えてみましょう。

◆自宅や学校・職場には、どのような危険があるか確認しましょう。

倉敷市が作成しているハザードマップを見て、高潮の発生や河川が氾濫した場合には何メートル浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所はどこか、よく立ち入る場所にはどのような危険があるのか確認しましょう。



また、倉敷市が指定している避難場所を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。

◆倉敷市から発令される避難情報を確認しましょう。倉敷市のウェブサイトやテレビ、ラジオ等から確認できます。災害時に倉敷市から避難を呼びかける情報には、次の三種類があります。

○避難準備・高齢者等避難開始  
お年寄りの方、体の不自由な方、小さい子どもがいらつしやる方など、避難に時間がかかる方と、その避難を支援する方は避難を開始してください。それ以外の方は、気象情報に注意し、危険だと思つたら早めに避難をしてください。

○避難勧告  
速やかに避難を開始してください。外が危険な場合は、屋内の安全な場所に避難してください。

○避難指示(緊急)  
緊急に避難してください。外が危険な場合は、屋内の安全な場所に避難してください。

〈お問い合わせ〉玉島消防署 TEL522-3515

## ▽「高齢者の免許証返納について」

高齢者の交通事故が多いので、免許証返納を呼びかけるのが昨今の一般的風潮になっている。私自

身も八十歳を超えている。しかし最近、新しい車を購入した。年齢的に事故の可能性は高いと考え、サボカーと呼ばれる、事故を極力避けるように設計された車にした。

今や日本全体が高齢化社会となり、この地域もその例外ではない。本紙の読者もその年齢か、それに近い方々だと思う。この状況を基に、現実的に考えてみた。今日地域社会を動かしているのは、いわゆる高齢者と呼ばれる七十歳を過ぎた人たちが中心になっていると思う。その人たちが、仕事の都合で、目的の場所へ行くのに、子どもや孫が送つてくれればいいのだが、近年は移住者が一般化しており、同居しているケースは少なく、同居していても車の運転ができる年齢の家族は、昼間は仕事のため家にいないのが普通である。

私は玉島南交通安全協会のメンバーで、自分自身はもとより一般の運転者の安全運転に強い関心を持っている。いつも思うのは、高齢者が重大な事故を起こした場合、年齢だけでなく、他の視点、例えば、マニュアルシフトからオートマの車に乗り換えた時期、運転の頻度がほとんど毎日か、週一回か月一回程度か、それ以下か。今まで交通違反や事故をした回数・時期などを調べて、それらの条件が事故とどのように関連するか、などに目を向けることである。

新聞・テレビ等も、上記のような視点を含めて報道すれば、事故を起こしていない運転者の参考となり、事故の削減に役立つと思う。また、高齢者を対象の認知機能検査を必要としない運転者を割り出し、講習申し込み人数を減らすことも出来るのではないだろうか。

西山 武久

## ▽「感じる力」「気づく力」

「玉島南小学校と言えは？」

本校の職員で行つた懇親会でのゲームの問題。回答者である校長先生の答えと一致したグループがポイントを得ることができるというルールであつた。校長先生の回答は「壁画」。玉島南小学校の校舎の壁には、赤、黄、オレンジ色で彩られたダイナミックな壁画があるのだ。

回答を聞いて私は「なるほど。」と思つた。なぜなら、通勤時、毎朝学校の前の坂道を上るとき東の空には眩いばかりの朝日が昇るから。眩しいと感じながらも、車の運転席の日除けはあえて下ろさない。逆に手のひらをかざすことさえある。太陽の恵みをめいっぱいいただいて、体を勤務モードに切り替える。気持ちが整う。あの壁画は、太陽に違いない。数十年前、玉島南小学校に赴任した先輩の先生方が、朝日の壮大な力に感銘を受け、玉島南小学校のシンボルにしたいと考えたに違いないと勝手に解釈している。あの壁画が答えとなつたことには納得できる。

学校のお宝は他にもある。校舎を巡るときに



聞こえる鳥のさえずりもそうだ。鶯、雀、名前を知らないたくさん鳥たち、カラスの鳴き声でさえ今では聞こえないと寂しく感じる。校舎裏には、サクラソボ、栗が実り(勝手になるらしい)、大葉まで収穫できる。校舎の三、四階から望める海は心を落ち着かせてくれる。さらには、退庁時、美しい月が「明日もがんばれよ。」と見送ってくれる。ここはなんと自然の恵みがいっぱいであろう。

子どもたちは、この豊かな恵みに気づいているのだろうか。山間部で育った私も、子どもの頃はそんなことを考えて生きていなかったから、気づいてなくて当たり前だと思いが、もつたいないことだとも思う。AIにとつて代わられる職業がたくさんあると言われる時代となったが、「感じる力」は新型機器には負けたくはない。子どもたちには、豊かな恵みがあるうちに、「感じる力」「気づく力」を高めてほしい。玉島南小学校に赴任した私の使命の一つは、この豊かさを伝えていくことだと思ひ始めている。

倉敷市立玉島南小学校教頭 佐々木 裕子

### ▼「三度目の玉島」

気がつくともう五十歳、まだまだ若いと思っていたが体力は正直で先輩が話していた膝の痛みを実感する今日この頃である。

思い起こせば、平成四年に玉島警察署に新任警察官として配置になり、平成二十二年に二回目の勤務、そして十二回目の人事異動で三回目の玉島署勤務となった。自分としては、自宅から近い玉島署を退職前の勤務場所と想定していたので少し複雑だった。しかし、希望の異動とならないことが多いので先取りできたことを今では嬉しく思っている。

新任時代からお世話になった方々は現役を引退されたが、ボランティア活動で再会し、昔と変わらず優しく接して手助け頂いており、大変感謝している。

また、この原稿を依頼して下さった方も昔と変わらず、元気な声で子どもたちの見守り活動をされていく姿を目にすると、私も頑張らなければと奮起させられる。

ところで、「はちまん」と聞いても今の若い警察官は何処の地区のことか知らないことが多い。ただ焼肉店のことは知っており、新任時代の私と同じで、食べ物屋で地理を覚えるんだなあと思感した。非番日のお昼ご飯に名物汁とホルモンを先輩と頑張った思い出がすこく懐かしい。

今では八幡保育園がその名を残しているが、八幡小学校等の三校が統合されて玉島南小学校になったことは、この原稿を書いて始めて知ることとなった。

玉島署ではあるテレビ番組を文字つて「ぶら道範」と題し、署長が玉島や浅口等の歴史を自分の

足や文献で調査し、署員全員にスライドや画像で教養している。歴史を知っていると地域により密着した勤務が出来ることを実感させられている。「はちまん」からも色々な歴史を発見出来るのではないかと興味津々である。

玉島警察署 交迎課係長 岡本 周二

### ▼「ラグビーW杯から」

昨年九月二十日に開幕した「ラグビーワールドカップ二〇一九日本大会」。北海道から九州に及ぶ試合会場で世界最高峰の戦いが繰り広げられ、日本がベスト八に入るなど、大変な盛り上がりとなった。

優勝候補のアイランドを撃破した際に、リーチ・マイケル主将が「やつてきたことを信じたことが勝因」と語ったように、お互いに尊重し合いながら目標達成に力を合わせる「ONE TEAM」の勝利に感動した。

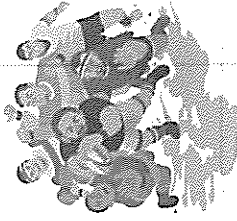
試合結果とともに各国で報道されていたのが、出場国チームに対する「おもてなし」である。山口県長門市でカナダ代表は地引き綱や手打ちそばの体験。千葉県柏市でニュージーランド代表に地元の子どもたちが、「ハカ」で歓迎。

そのおもてなしに、試合終了後に両チームが観客に向かって日本式のおじぎをし、また、フランスなどの選手は、試合後にロッカールームを清掃していたという。

「屈強な選手たちは、泥まみれになりながらも、体格とパワーを存分に生かし、被害にあった家から重い家電を運び出すなど、地元の人々と一緒に懸命なボランティアに精を出した。」と、海外のテレビ局も地元の人々と共同で復興に取り組むカナダ代表の活動を「これぞスポーツのあるべき姿」と紹介していた。

ワールドカップは、ラグビーの醍醐味を存分に私たちに与え、日本の文化、共生社会の在り方などを考える契機ともなったのである。

倉敷市立玉島西中学校 廣畑 栄三



### ▼「特殊詐欺に騙されないために」

「そんなことでは騙されたいよ」「うちにはそんなお金は無いから大丈夫」

これは、地域の集い場で、特殊詐欺被害防止の話をし始めた時に、集まった皆さんからよく聞く言葉です。

しかし、特殊詐欺の被害が止まらないのです。全国的に特殊詐欺の被害が多発しており、一向に治まる兆しが見えません。

### 「特殊詐欺の被害状況について触れておきます」

■昨年中、岡山県内での被害は、**102件、被害額約2億1,860万円**

(前年比+11件、被害額約1億8,410万円)でした。

■玉島警察署管内では、**8件、被害額約1,225万円**

(前年比+2件、被害額約5,820万円)によります。

被害額を件数で割ってみると、一件あたりの被害が、約214万円となり、一回の被害額は高額で被害者に経済的にも精神的にも甚大なダメージを与えることになっているのです。

そもそも、「特殊詐欺」とはどんな犯罪をいうのでしょうか。「特殊詐欺」という言葉を、聞いたことがないと言われる方もおられます。

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく騙し、指定した預貯金口座への振り込み、その他の方法により、不特定多数の者から現金等を騙し取る犯罪の総称です。

息子や孫を騙つて金を騙し取る「オレオレ詐欺」、利用料金未払いの請求名目に金を騙し取る「架空請求詐欺」、医療費や税金の還付名目に金を騙し取る「還付金詐欺」等は聞いたことがあると言われる方も多く、これらが特殊詐欺に分類されます。

### 近頃多発している特殊詐欺の手口を紹介します。

突然、家の電話が鳴り、電話に出ると、「玉島警察署の〇〇です。詐欺の犯人を逮捕しました。アジトから、あなたの名義の通帳やキャッシュカードが出てきました。」等と話をします。これは、警察官を騙つた詐欺犯人からの電話です。話を聞いていると、「悪用されて口座のお金がなくなる可能性があります。お持ちのキャッシュカードを取り替える必要があります。警察官が確認に行きます。」等と言つて通帳やキャッシュカード、お金を送らせたり、犯人が受け取りにやつて来る等して、騙しとられるのです。こうした不審電話が、玉島警察署管内でも多発しています。不審電話は、直ぐに電話を切ることが被害防止に繋がります。

また、昨年、玉島警察署でも、キャッシュカードを被害者の家に受け取りに来た犯人を逮捕しています。特殊詐欺は都交やテレビの中だけの話ではなく、身近で起こっているのです。

警察では、犯人を捕まえるだけでなく、被害を防止するために各種の対策を講じています。その一つとして、金融機関に対して、高額引き下ろしがあれば、警察に連絡するよう要請しています。犯人に騙された被害者が、お金を準備するために、金融機関から金を引き下ろそうとした際、警察官が直接被害者と話をして被害を防ぐためです。警察官が金融機関に行き、引き下ろしをしている方に声を掛けると、「自分の金を下ろして何が悪い」と気分を害される方もおられます。たし

かに始どの場合は被害に遭っていないのですが、万が一騙されていたとしてもここで被害を防ぐことができるのです。もし、お金を引き下ろす際に警察官に声を掛けられたら、一呼吸おいて今後の被害防止のためと思つて話を聞いていただきたいと思ひます。

特殊詐欺被害防止に効果があることとして、自宅の電話を留守番電話設定しておく方法があります。かかつてきた電話に直ぐに出ることなく、ナンバーディスプレイなどで相手を確認し、誰か分からない電話には出ないようにすることで被害に遭う可能性が低くなります。

また、特殊詐欺防止機能を有した電話機の利用も効果があります。この電話機は、着信時に録音する旨のアナウンスが流れ自動的に録音する機能があり、犯人が警戒することで被害防止に効果があるのです。こうした電話の利用も検討してはどうでしょうか。

被害に遭つた方の多くは、「自分が被害に遭つとは思わなかった」と話されています。冒頭で言ったように「騙されないよ」と思われている方は、自分が騙されることはないという前提です。騙されていても気づくことは難しいのです。自分は大丈夫という思い込みはやめて、日頃から対策をしておくことが重要です。

また、「被害に遭うようなお金はない」と言われる方も、よく考えてみてください。「家族に何かあつた時のために」「孫に何か買ってやつて喜ばしてやりたい」「これからの生活のために」等と思つて、今まで必死に働き節約して蓄えてきたものがあると思います。特殊詐欺は、人の善意や不安に付け込んで、長年、苦労して蓄えたものを、一瞬で奪い取つていく卑劣な犯罪です。住民一人たりとも、こうした卑劣な犯罪の被害に遭つてほしくないと思ひます。

被害を防止するために、やつてもらいたい事は次のとおりです。

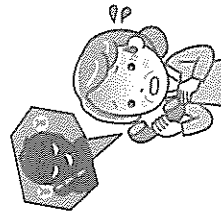
電話でお金のお話が出たら、一旦電話を切ってください。不審電話かどうか判断する以前に、お金の話が出たら電話を切ってください。そして、警察、家族、知り合い、銀行等、誰でもいいので相談してください。

普段から家族とたくさん話しをしたり、連絡をしてコミュニケーションをとつておいてください。周りの人に、詐欺の被害状況や手口について話をし多くの人に注意喚起をしてください。

卑劣な詐欺犯人にやるような金はありません。

普段から、特殊詐欺被害防止に向けた心構えをして、電話一本で大切なものを騙し取られないようにしましょう。

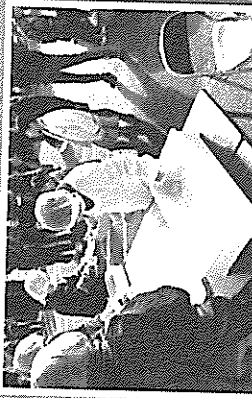
玉島警察署生活安全課長 柴床 晃明



### のぞみ会



のぞみ会は、六十五歳以上の一人暮らしの人が入会できます。会費は年額千円です。開催は二か月に一回です。内容は健康体操・ビンゴゲーム・手品・病氣予防対策等です。



### 三世代交流もちつき大会

令和元年十二月八日(日) 好天にめぐまれ、柏島東穂の家で高齢者、親子らが参加され、もちつき大会を行いました。

前日より、石臼と杵を準備し「ぜんざい」「しょう油」「きな粉」の三種類を作り、食べていただきました。

参加者の中には、昔ながらの石臼でついたものは、三つしがあり格別おいしい、おいしい」と喜んでいただきました。

その後、子どもたちとビンゴゲームを行い、楽しい半日を過ごすことができました。

前日より準備をしていただきました皆様、ありがとうございました。

### 福祉施設との交流会



令和元年八月七日(水) 勇崎の亀ちゃんの家で大きな器を準備し、水を張り、プラスチックでできた金魚等を入れ、昔なつかしい金魚すくいを行いました。

利用者の中には、昔は祭りの夜店などでよく金魚すくいをして楽しんだ事を思い出される方もおられ、喜んでいただきました。

### ふるさと旅行日記

平成三十一年三月十七日(日) 高齢者、親子らが参加し、柏島東穂の家を九時に出発して旧柏木家住宅(西爽亭)を經由し、羽黒神社へ行き、十二時頃には出発場所へ帰りました。

西爽亭、羽黒神社では施設の説明をしていただき玉島の歴史にふれる事ができました。



### 三世代交流地区運動会

令和元年十月二十七日(日) 多くの人々が集い、玉島みなと公園で運動会を行いました。

玉入れに始まり、綱引き、パン食い競争等の種目を行いました。会場内には、笑顔があふれ歓声が起こり、大人は子どもに寄り、子どもたちは元気にはしゃぎ回り、にぎやかに一日を過ごしました。

綱引きに参加した大人たちは、つつい力が入り疲れたといった声もありました。

お手伝いをいただいた皆様ありがとうございました。



### 「玉島高齢者支援センター」528-3266

玉島高齢者支援センター(地域包括支援センター)は玉島南小学校区、沙美小学校区、南浦小学校区の65歳以上の方々の相談窓口です。集いの場の支援(いきいき元気体操やサロンの立上げ支援)、介護予防の教室(地域の情報発信)、介護保険に関する事(申請のお手伝いや介護保険についての説明、介護保険の利用等)や高齢者虐待などに関する事など、社会福祉士、保健師(看護師)、主任ケアマネの専門職が対応します。いつでもお気軽にご相談ください。

阪本・岡・高知・平田

### 民生委員・児童委員及び主任児童委員の地区担当

(敬称略)

(新)井上 薫	柏台5丁目
(新)小林 光宏	船宮・金谷・福井・八幡・原団地
(新)大本 文子	榎山・奥谷・寺前1・寺前2・畑・深底・蔵戸・大井辻谷・南陽台・新南谷・南谷ハイツ 他
六角 成一	金頭地区・桃山団地・原上団地
原田 祥一郎	羽口・南谷・山之端・奥谷市営団地
白神 浩三	押山・宮本町・ひまわり団地
中藤 知之	外浜・宝龜
宮原 美貴子	西浦
西山 圭子	玉島南小学校区

※西山圭子さんは主任児童委員です。他の方々は民生委員・児童委員です。

※3名の方が退任され、新たに3名の方が委嘱されました。退任された3名の方、本当にお世話になり、ありがとうございました。